

卒園を祝う会

やまもも保育所 高橋 亜実

3月25日(木)に「卒園を祝う会」が行われました。
今年は、卒園児2名がそれぞれ得意な事を会で披露する事になり、運動が得意なH君は側転・縄跳び・跳び箱・鉄棒を、ピアノが得意なAちゃんはお気に入りの曲を演奏する事に。

H君は、ほぼ未挑戦から始めた運動も、持ち前の身体能力で日を追うごとに上達し、跳び箱の段数を上げていたり、鉄棒も前回りだけでなく後ろ周りまで出来るようになり、「卒園式で皆に見せたい!」という気持ちを高めていきました。

そんなH君を見たAちゃん。最初は2曲披露する予定が「3曲やる!」と自ら宣言し、最終的には4曲演奏する事に。保護者の方から「卒園式で披露する事になってからピアノの練習に熱が入っています」というお話もあり、私たちも当日を楽しみにしていました。

庭の桜も咲き誇った当日。やまもも保育所での思い出写真や作品、クラスのお友だちが2人のためにと摘んだお花、小さな頃から成長を見守ってきた家族や大人たちに囲まれた空間で、祝う会が開始されました。

いつもと違う雰囲気にお母さんの側で恥ずかしがる2人。担任としては『この後の発表は大丈夫かな?』とソワソワもしましたが、練習で自信をつけた2人は、本番になるとガラリと表情が変わり、H君は3回が最高だった側転を5回も行い、Aちゃんは司会が曲名を言うと、スッと指を動かして堂々と4曲弾き切りました! 大人たちも「凄い!」と大きな拍手を送りました。

そんな2人に大人達からは、保育所生活を表現した人形劇・遊びや生活で使っている道具を楽器に変えた演奏・迫力あるボディーパーカッションをプレゼントしました。当日アドリブを入れる大人も多く、それぞれが2人にお祝いの気持ちを表現する時間となりました。



最後は、卒園児と私たちによる「おかあさんのたんじょうび」という劇遊び。お母さんへの誕生日プレゼントを探す子ども達が動物と出会っていきます。そして最後に出会った熊のアドバイスにより、物ではなくギュっと抱きしめながら『おかあさん、だーいすき♥』という言葉贈るという内容です。照れながらもお母さんに抱き着く2人。心も体も大きく育った可愛い我が子を抱きしめるお母さんの姿に心温まりました。



保護者の方々からも『お迎えに来た時にお散歩で拾ってきた石がポケットに入っていたり、こちらも楽しかった』『やまももで過ごせた事を誇りに思います』『家ではあまり食べないのに給食は美味しいと言って毎日メニューを聞かれていました』というお言葉をいただき、私たちも2人と過ごした様々な思い出や、その思い出を共有してきた保護者の方との日々を思い返す事ができ、胸が熱くなりました。

4月からは小学生。この日頑張った披露した運動や演奏の様に沢山の事に挑戦し、新しいお友だちも増やしながらか楽しく過ごして欲しいと思います。

保護者の皆様、日々保育所へのご理解とご協力ありがとうございました。

卒園後もぜひ2人の成長した姿を見せにいらしてください。

